

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	図書館管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	26,963	26,053		26,081		▲ 500	25,581	▲ 1,382
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	149	160		172		172	23
	一般財源	26,814	25,893		25,909		▲ 500	25,409

事業概要	<p>知の拠点としての市民図書館(本館・分館)の職員の人件費及び維持管理にかかる経費、新書の購入費を予算化している。</p>	今年度見直し事項	<p>条例改正により、平成26年度から職員4名が新たに採用になることより賃金額等が変更となる。および育休職員1名が復帰するまでの代替臨時職員の賃金を要求する。</p>
事業目的	<p>市民の知の拠点である市民図書館の充実を図る。</p>		
現状と背景	<p>平成24年度の蔵書冊数は14万冊を超え、図書貸出個人利用者数も2万9千人となっている。また平成21年度からの祝日開館もあり、平成24年度の入館者は7万5千人となった。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	鳥取県図書館協会負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	9	9		9			9	
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	9	9		9		9	

事業概要	県内の図書館の連携、情報共有を目的に設置されている鳥取県図書館協会に対する境港市の負担金を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	県内の公共図書館、高専・短大・大学図書館、学校図書館及び幼稚園、保育園、読書団体等の連絡連携のもとに図書館の発展を図り、鳥取県の文化の向上に寄与することを目的とする。		
現状と背景	鳥取県図書館大会や他市町村の図書館の視察等に参加し、図書館司書のレベルアップと市民の知の拠点としての市民図書館機能の向上に役立っている。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	読書活動推進大会開催事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	102	102		102			102	
財源内訳	国							
	県	51		51			51	
	市債							
	その他	51		51			51	
	一般財源		102					

事業概要	胎児期～高齢期まで読書が楽しめる生涯読書の推進を目指し、平成17年から小中学校や読み聞かせ団体の読書に関する活動の発表や、その年のテーマに沿った講演会等を開催してきた。当事業に開催の為の講師謝金等を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	胎児期のブックスタートに始まるように人生におけるそれぞれの時期に応じて読み聞かせや読書活動を体験し、生涯をととした読書活動を推進することにより、誰もが読書の楽しさや素晴らしさを実感できることを目的とする。		
現状と背景	近年、メディアの発達・普及により、子どもの「読書離れ」が進んでいる。平成17年6月、読書で未来をひらくまち境港を目指して「境港市子ども読書活動推進計画」を策定し、胎児期から高齢期まで読書が楽しめる生涯読書の推進を目的としてブックスタート・学校図書館の充実・読み聞かせ活動の拡大などの取り組みの1つとして、読書活動推進大会を開催している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	市民図書館分館耐震診断事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		2,270						
財 源 内 訳	国	544						
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,726						

事業概要	新耐震基準以前の昭和52年3月に建築された市民図書館分館の耐震診断を実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	現在分館の1階研修室は読み聞かせや講座を、2階は司書の作業場や禁帯出本の閲覧を、3階は市史編さん室として利用している。利用者及び職員の安全確保のための耐震診断を実施する。		
現状と背景	診断の結果によっては使用中止の場合も考えられる。市民会館の耐震診断結果も踏まえた分館のあり方について、耐震診断の実施までには、図書館をはじめ利用団体との十分な協議が必要である。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	図書館図書購入事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		1,000				1,000	1,000	1,000
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		1,000			1,000	1,000	1,000

事業概要	市民図書館の図書の購入費を増額する。	今年度 見直し 事項	
事業目的	利用者ニーズも含めた図書の充実を図る。		
現状と背景	県内4市の中で境港市民図書館は図書の購入数・保管数とも1番少なく、ほぼ湯梨浜町と同じである。近隣図書館がリニューアルオープンされる中、境港市では図書館廃棄基準も明確にし、同時に図書館利用者ニーズにも対応した図書の充実、サービスの向上を図り、利用者増に努めていく必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	図書館費

所管課	生涯学習課
事業名	図書館整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		151						
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		151					

事業概要	図書館職員及び利用者が安心して作業・利用ができるよう、安全確保のための図書館の環境改善を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	図書館職員は本・分館に分かれ、貸出・受入業務を行っている。閉ざされた空間の中、不審者が入ってきた場合に職員だけでは対応できない環境にある。職員及び利用者の安全確保のための環境改善を行う。		
現状と背景	図書館職員は本館と分館に分かれて作業をしており、1人～2人になる場合も多い。職員1～2人だけでは不審者に対応できない環境にある。	その他	